

Medical Innovation by NCGM and Commons

開催レポート：第5回 海外医療機器の最新動向勉強会

2018年7月11日（水）、国立国際医療研究センター 大会議室にて、MINCの会「第5回海外医療機器の最新動向勉強会」を開催いたしました。行政機関、病院関係者、企業、医工連携関係者、63名の参加をいただきました。ご参加の皆さま、ありがとうございました。

■ MINCの会 勉強会について

国立国際医療研究センターと日本医工ものづくりコモンズでは、2017年秋より、海外医療機器情報誌の日本語訳版「Medical Globe」（株式会社カワニシホールディングス発行）から最新の記事の抜粋を資料として、情報共有をおこなう勉強会を定期的に開催しています。



<http://www.kawanishi-md.co.jp/mg/index.asp>

■ 第5回について

・医工連携に関わる行政機関、経済産業省 医療・福祉機器産業室、厚生労働省 産学連携部にご参加・ご挨拶をいただきました。

・勉強会は、国立国際医療研究センター（NCGM）医工連携推進室長の丸岡 豊 先生（歯科・口腔外科）と東京医科大学の福田 尚司 先生（心臓血管外科）を座長に、また医薬品医療機器総合機構（PMDA）より望月 修一 先生をコメンテーターとしてお迎えし、活発に議論をおこないました。

・記事については、原 久男 先生（循環器内科）、船戸真史 先生（国際医療協力局）、新井憲俊 先生（神経内科）、大杉満 先生（糖尿病内分泌代謝科）、忌部 航 先生（消化器内科）にご参加いただき、症例や国内の現状の説明とともに、海外の最新医療機器についてコメントをいただきながら、参加者の皆さまとディスカッションをおこないました。



勉強会の様子

ディスカッション記事

- 【心臓血管外科・循環器内科】エドワーズが自己拡張型TAVI用デバイス「CENTERA」のCEマークを取得
- 【神経内科】片頭痛の治療と予防が行える eNeura 社の TMS 装置「sTMS mini」
- 【国際医療協力局】遠隔診療システムを開発する Tyto Care 社
- 【糖尿病内分泌代謝科】キャリブレーション不要の Dexcom 社の CGM「Dexcom G6」の承認を取得

記事紹介

- ボストンが胆・膵管癌のアブレーションプローブを開発するEMcision社を買収
- オーソフィックス社、人工椎間板「M6」を開発するSpinal Kinetics社を買収



ご来賓挨拶



経済産業省



厚生労働省

参加者からの声

- ✓ 遠隔診療については今後も扱ってください。
- ✓ 「メカニズムが解明されていないが効果はある」という医療機器についてのdiscussionが勉強になりました。
- ✓ PMDAの意見が聞くことができたのは勉強になった。
- ✓ 意見交換が非常に活発で勉強になった。

◇ 事務局より御礼

気象の安定しない中、行政の皆さま、コメンテーターの先生方、多くの企業の皆さまにご参加いただき、誠にありがとうございました。第5回では関西地区と遠隔で結び、勉強会の視聴を試させていただきました。今後も改善をしながら、有意義な勉強会を継続していきたいと考えております。

第6回は、2018年9月18日（水）18時より、国立国際医療研究センター 大会議室にて開催いたします。